

環境学習施設ネットワーク会議

報告書

特定非営利活動法人白川郷自然共生フォーラム

特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ

2014年3月31日

概要

主催	環境省 中部地方環境事務所
企画運営 事務局	環境省 中部環境パートナーシップオフィス NPO 法人白川郷自然共生フォーラム
日程	2013年 9月20日(金) 事例報告とESDワールドカフェ エクスカージョン 9月21日(土) 白川村の事例報告とプログラム体験
会場	トヨタ白川郷自然学校
参加者数	28名 (25団体) ※別紙参照
内容	中部7県の環境学習施設担当者と環境教育実践者が集い、現状と課題を踏まえ、今後の環境学習施設の役割と機能を明らかにし、2014年に向けての提案をする。 9月20日(金) 事例報告とESDワールドカフェ (11:00~17:00) プログラム① 事例報告 (11:15~12:00) 「プレゼンテーションと問題提起」 今後の環境学習施設の役割とはどうあるべきか。ESD2014を受けて環境教育の実践者、施設担当者4氏が「拠点の役割」「学校との連携」「森林環境教育」「ESD2014」について、事例報告、それぞれの考えを発表。 プログラム② ESDワールドカフェ (13:00~16:00) 「課題と提案と共有」 持続可能な社会を実現するために、今後の環境学習・教育はどのような実践をすべきか。5グループ3テーマ4ラウンドのワールドカフェ形式で討論。 9月21日(土) エクスカージョン：白川村の事例報告とプログラム体験

● **事例報告** (11:15~12:00)

- ① 拠点の役割 大西かおり氏 (大杉谷自然学校)



- ② 学校との連携 中林直子氏 (中信地区環境教育ネットワーク) ※別紙参照



- ③ 森林環境教育 嵯峨創平氏 (岐阜県立森林文化アカデミー) ※別紙参照



- ④ ESD2014 中部環境パートナーシップオフィス ※別紙参照



● ESD ワールドカフェ (13:00~16:00)

◇課題と提案と共有

持続可能な社会を実現するために、今後の環境学習・教育はどのような実践をすべきか。5グループ3テーマ4ラウンドのワールドカフェ形式で討議。

○テーマ

- ・ 拠点の役割
- ・ 学校と地域連携
- ・ ESD2014 をきっかけに

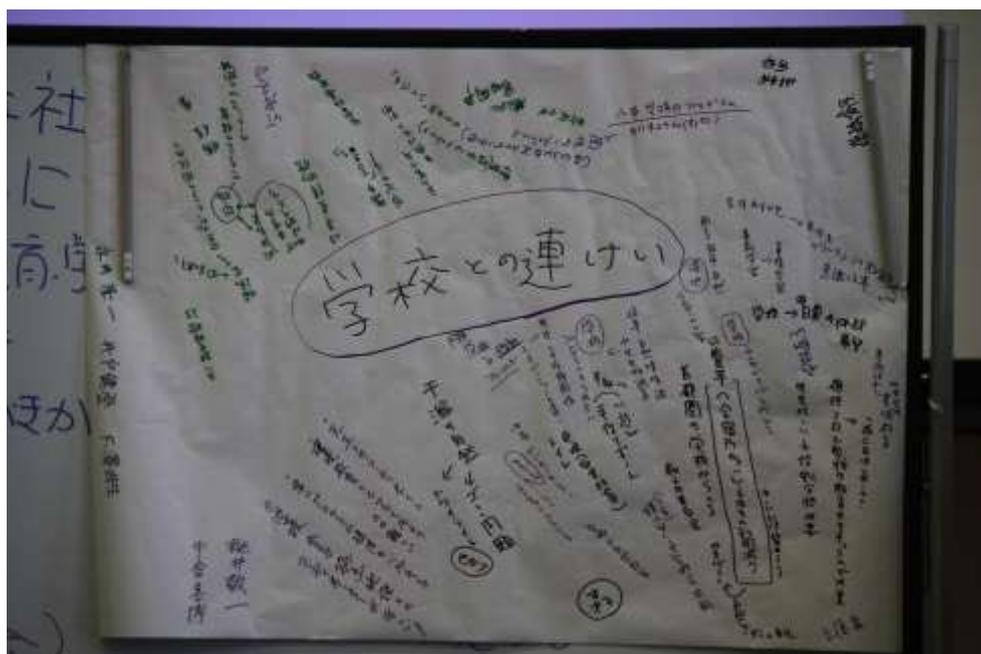
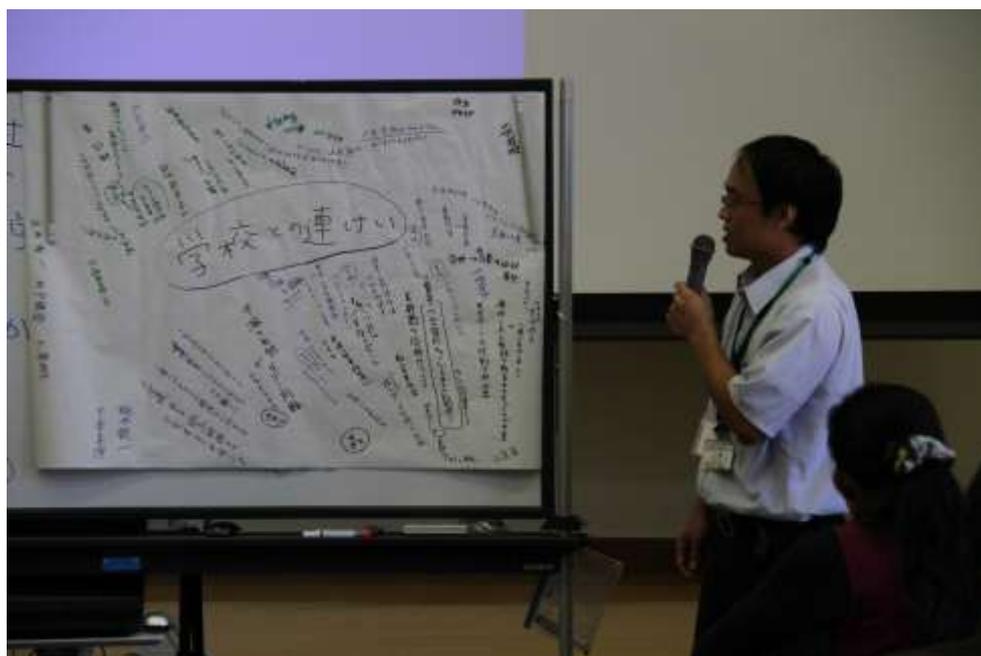




◇全体共有

グループ① 「学校と地域連携」

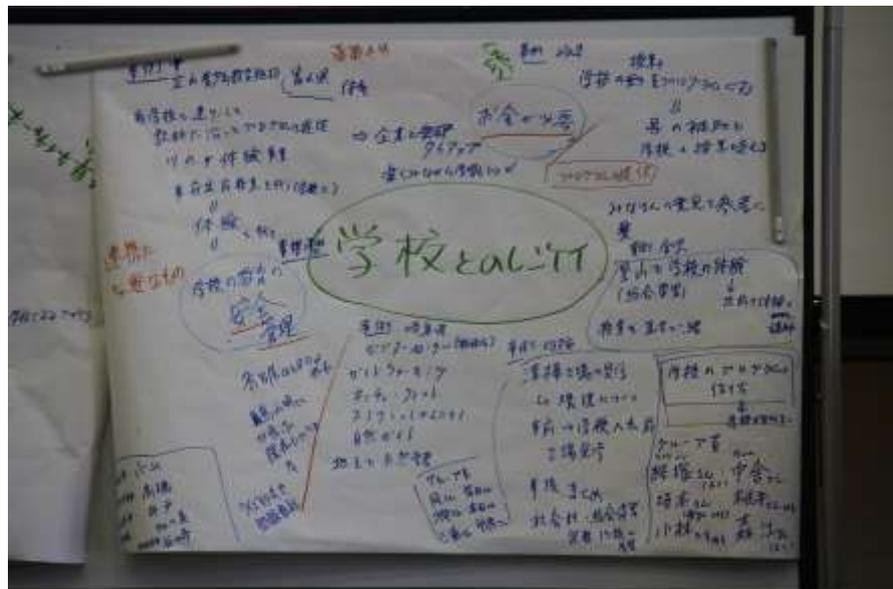
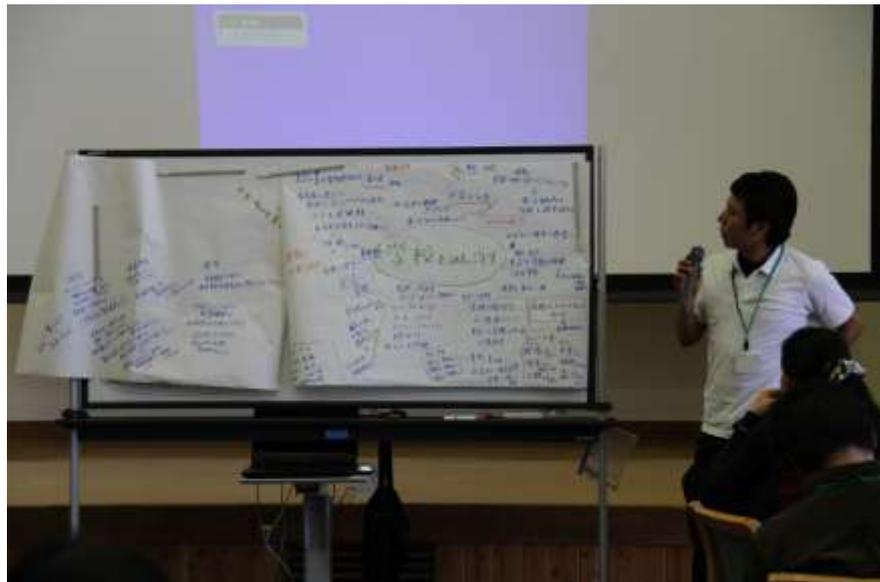
- ・ 問題や課題 ・ ・ 施設まで移動交通手段がない。週休二日の学校はカリキュラムが密なので、先生も生徒も疲れていたり忙しい。先生によってモチベーションが違う。
- ・ 環境教育 ・ ・ 先生が学ぶ姿勢が少ない。常に学校側に提供しなければならない。施設と学校のカリキュラムのすり合わせが必要。
- ・ 学校と拠点施設とのコーディネーター的役割の施設があれば良い。



グループ② 「学校と地域連携」

- ・ 事例と問題点
- ・ 安全面・リスクの回避
- ・ 教育

結論は答えとして明確なものではなく難しい。地域との連携を密にして、やる人が目的を持って行わないと、目的がぶれると結果的にだめになる。



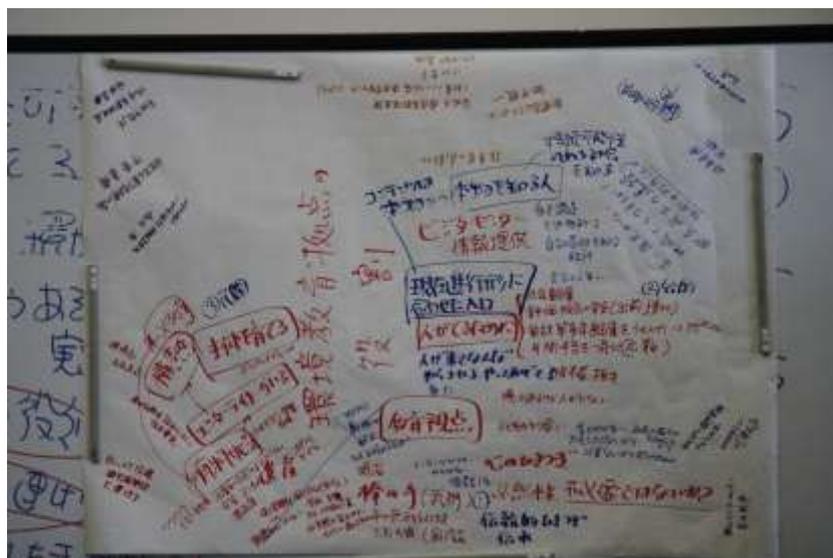
グループ③ 「拠点の役割」

- ・プログラムの話では、四日市公害について伝えていくために拠点が中心になることで、子どもに教育が広まっていった。
- ・学校教育との連携。登山では長野県は8割実施、石川県はなし。学校の先生は外に連れ出すことに消極的な傾向。しかし、時代とともに変わりつつある。
- ・環境教育としての効果を意識しないとだめ。一方で評価しにくい。効果も出ない、評価もしにくいことに取り組んでいる。信念をもち職業的ではない人のプログラム提供に参加者が惹かれる。その拠点到何度もいく。面白くスキルをもつ拠点が良い。人材の最後のよりどころとなる施設といえる。
- ・ESDとはSDのための教育。教育としては難しい。楽しく気持ちよくやることが重要。生活系・自然系の教育がつながることが必要で、それをつなげることが出来る拠点になっていけば良い。市長、教育長などのトップの意向が影響大きい。



グループ④ 「拠点の役割」

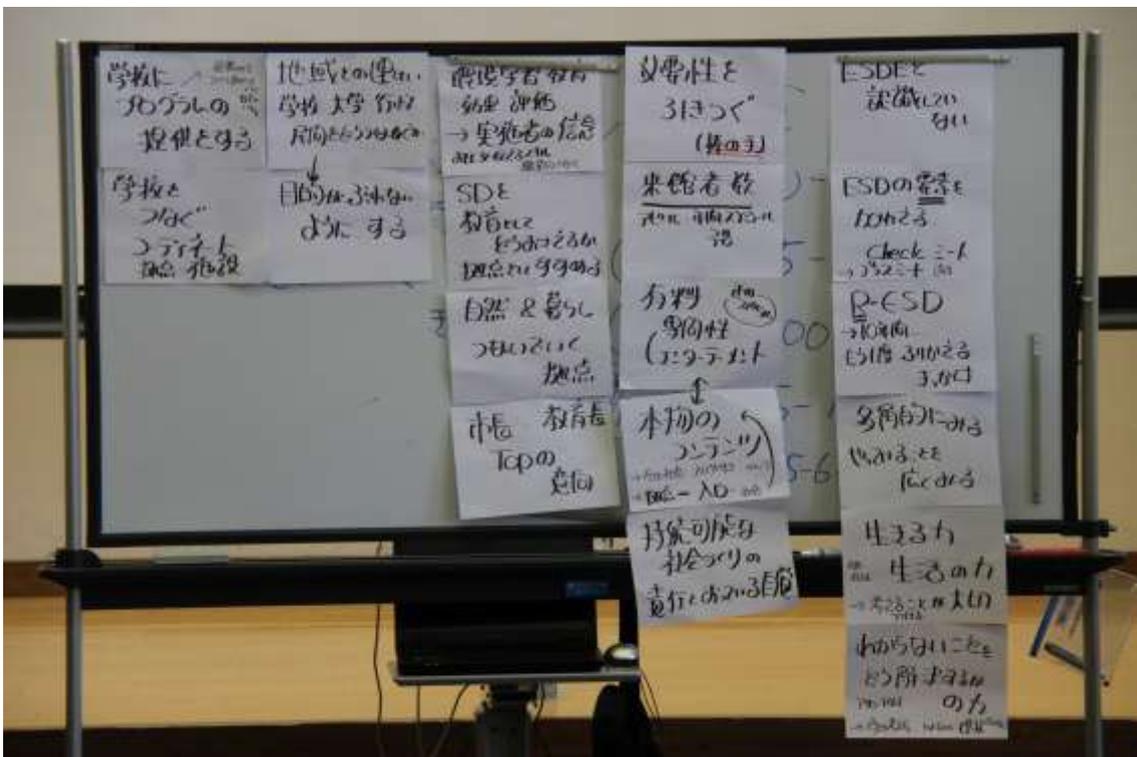
- ・安城市（棒の手）という農民武術。担い手は1人。市の無形文化財。人気がない。不必要であるが、その中にある必要なもの、ESD的なものを引きつぐことが重要。
- ・拠点は人が来ることが大前提。人が来るためにはどうするか。低年齢からアピールを早く、年間スケジュールを早期に広報する。
- ・有料サービス。エンターテイメント的でないといけない。スキル向上が必要。環境教育施設の指導者は意識しなければいけない。
- ・1ラウンドと真逆の議論している。本物を伝えるために、なぜエンターテイメントなのか。現代社会は低い入り口が必要になる、現在進行形に合わせた低い窓口が必要。たくさんの人を呼び、本物に触れてもらう。指導者は自己満足で終わるのではなく、持続可能な社会において責任を持つべき。



グループ⑤ 「ESD2014 をきっかけに」

- ・ ESDはいったい何。ESDが説明しきれない。
- ・ 世間一般にも良くわかっていない。ESD的活動をしている方が多いが、ESDであると認識していない。ESDの要素がわかりやすくなったもの、表があった方がいい。RES Dにしたらどうか。10年間やってきたことがわからない。10年をふりかえるきっかけにするためにReをつけてRES Dと呼んではどうか。
- ・ 視野を広げ、多角的に見れば、最後のまとめをすれば、ESDにつながる。ESDはやはり難しくよくわからない。生きる力、生活する力と呼んではどうか。わからないからESDを考える。何を教育していけばいいのかということこれから考え実行していく。





● 個人のふりかえり・全体共有

感想・一番今日参加して良かった、気づき等思うことを発表。

- ・ 今後視野を広げた活動をしたい
- ・ ほっておかれる施設が必要
- ・ いろんな施設の方の考え方に触れることが出来た。
- ・ ESDはよくわからないまま
- ・ 様々な角度、違う分野の方の意見が聞くことが出来て良かった。
- ・ きっかけとなる一言が大切。わかりやすく伝えることが重要。

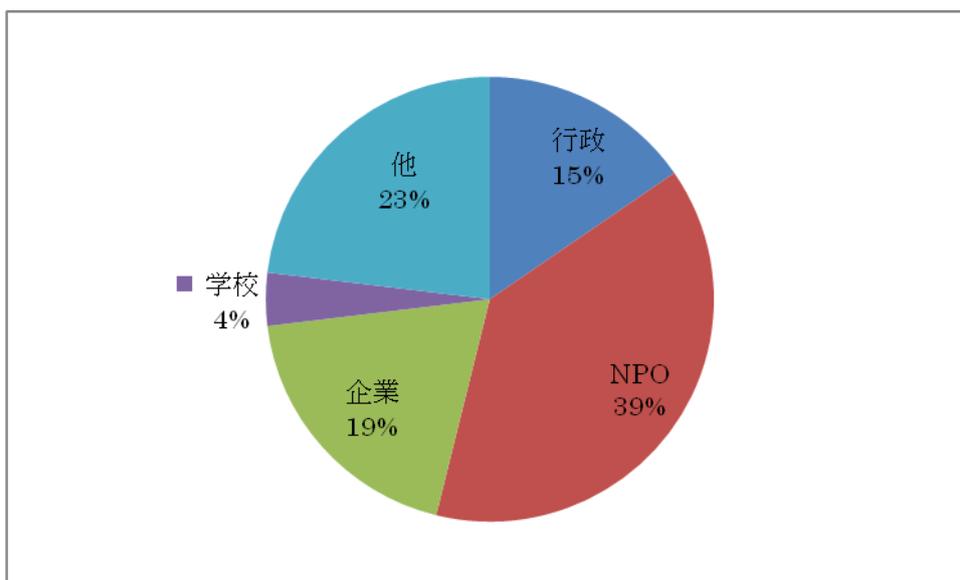


2013年9月20日

参加者アンケート

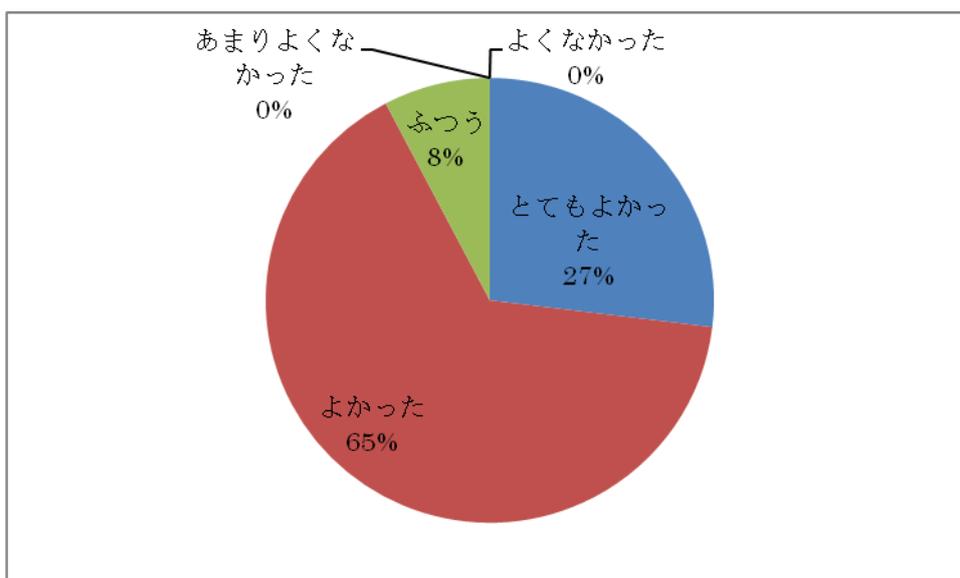
アンケート回答者：26名

アンケート回答者の所属

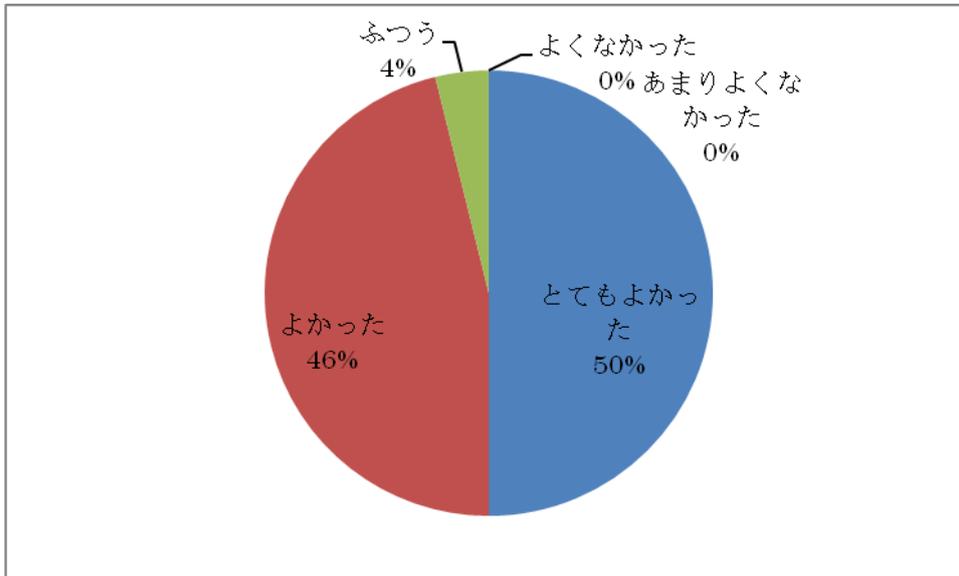


1

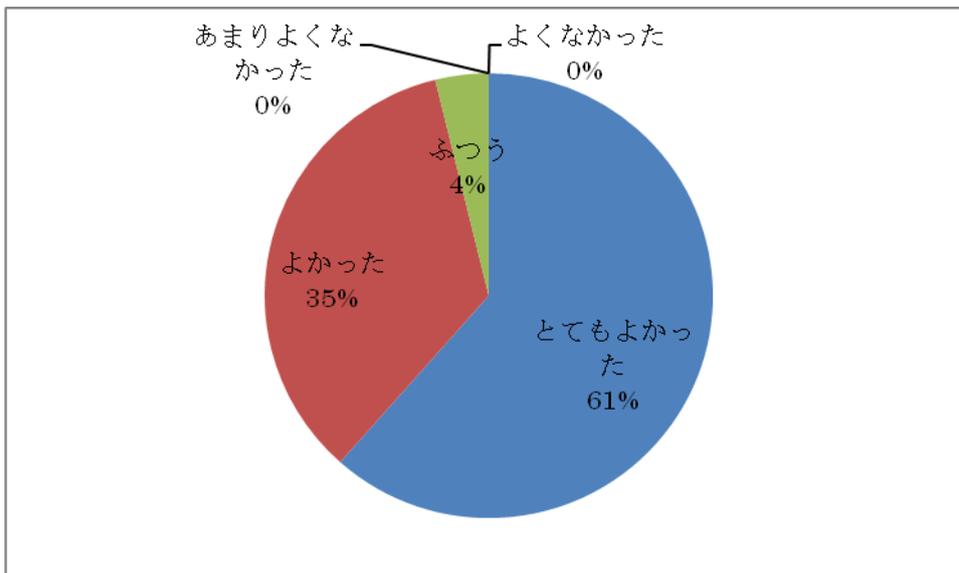
□「プログラム1プレゼンテーション」に参加されていたいかがでしたか。



□「プログラム2ワールドカフェ」に参加されていかがでしたか？



□全体的に参加されていかがでしたか？

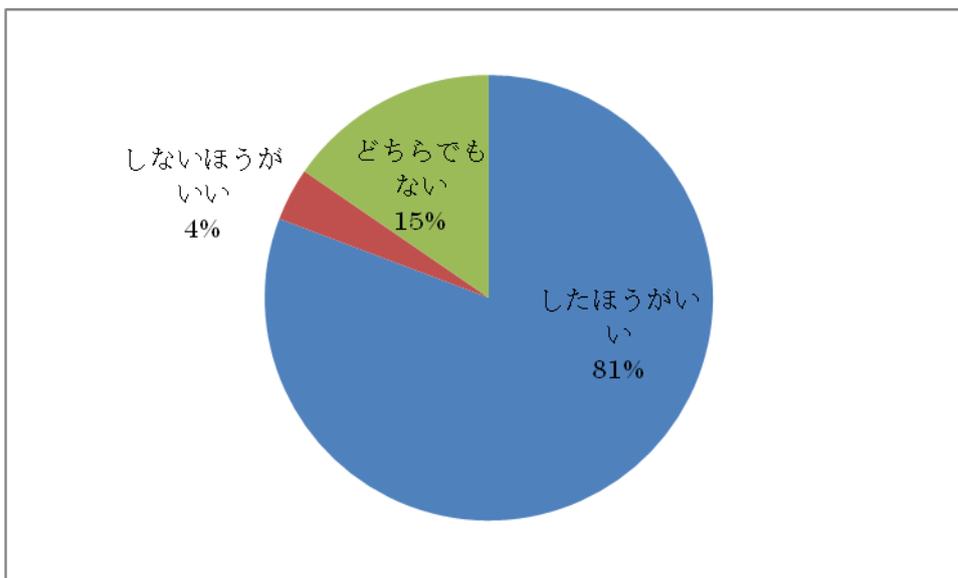


□その理由を教えてください。

- いろいろな意見が聞けた
- さまざまな情報を得ることができた。頭の中の整理・再確認に役立った。
- PM のワールドカフェ方式は良かった。
- 環境の違う方々の考え方、意見等が聞けたのが勉強になった。
- ESD の多くの皆さんの考え方が分かった。
- もう少し全体で打ち解けられるような時間があるといいです。
- 様々な考えに触れることができ、非常に良かった。
- いろいろな人と交流できた。
- ワールドカフェをゆっくり時間をかけたことで、最終的に学びにつながった。
- 多種多様な方との交流
- いろいろな方の意見が聞けてためになった。
- 自分の引き出しを増やす良い機会となりました。
- 気づき、発見が一杯あり、いろいろ元気が出ました。
- 参加者の所属が載った名簿があると有難いです。
- 気づきや自分が勉強になることは多かったのですが、ネットワークを作ると言うことをもう少ししたかった。

2

□今後も本会議を継続した方が良いと思われますか。

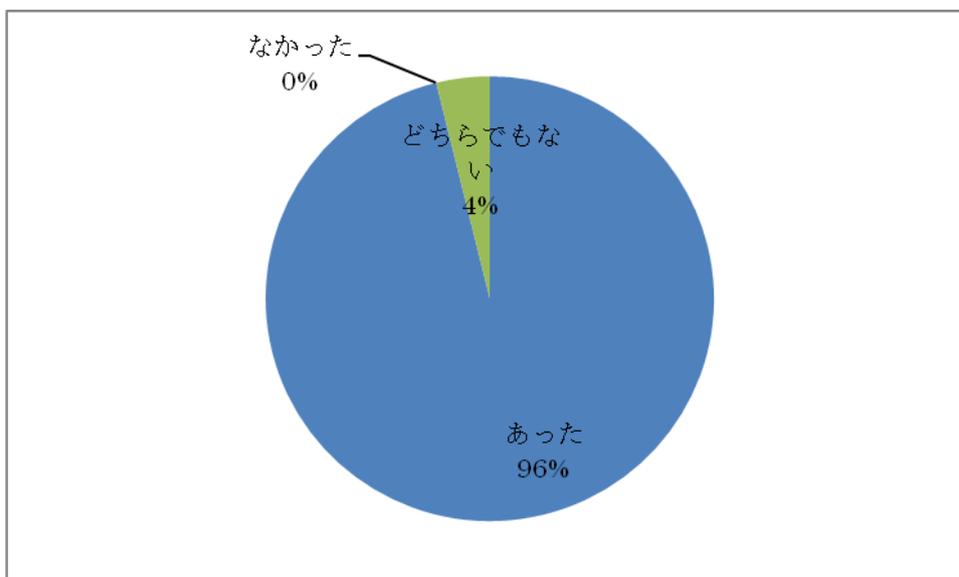


□その理由と改善案があればお聞かせ下さい。

- 遠いところには行きたくない
- 地域での活動が実践されることの方が優先と感じるが、共有の場もあって良いと思う。
- ある地域の中だけでは考え方が固まってしまう気がする。
- なかなか集まる機会がないので必要だと思います。
- 現場とセットで
- ネットワーキングは大事。
- 自分の立ち位置の確認のため。
- 気づき、発見が一杯あり、いろいろ元気が出ました。
- もう少し早めの告知があるといい。
- 広報する時間をもっと取っては？
- ESD の創造の始まり

3

□この会議に参加されての得た事がありましたか



□具体的にお聞かせ下さい

- 自分にない視点や考えを聞き、考えることができた。
- エンターテインメント性が大事
- 自分の考え方等がある意味違っている場合もあるので良かった。
- 人間力。
- 自分の考えていることの見つめ直し
- 再確認することが多くあった。
- 自分の確認
- 自分の引き出しを増やす良い機会となりました。
- たくさんの方と交流できる横のつながりが出来る。
- いろんな視点に気づけた。いろんな人が向上できる。
- 他の施設、団体のやっていることが聞ける。横のつながりが少ない。
- 気づきの共有化
- 悩んでいることは同じ。力を合わせてやれる仲間がいると思った。

4

□今回の会議の感想、気づかれたこと、ご意見などをお聞かせ下さい。またお知りになりたい情報などありましたら、お聞かせ下さい。

- ありがとうございました。

環境学習施設ネットワーク会議報告書
平成 25 年度

編集 NPO 法人白川郷自然共生フォーラム
〒501-5620 岐阜県大野郡白川村馬狩 223
TEL 05769-6-1185 FAX 05769-6-1287

編集 平成 25 年 10 月